

最近の人口変動にもとづくメガロ ポリス形成に関する研究

上 田 正 夫

1. 前 言

1965年国勢調査による全国市区町村人口の変動は、すでに指摘されているように、大都市地域への人口集積をますます激化させ、一方、農村地域における若年労働力を中心とする人口流出の激化と人口再生産力の低減とによって広範な人口減少地域を現出させる結果を示している¹⁾。

全国的にみた場合の人口変動は、戦後における急激な出生、死亡の変化の結果として、ベビーブーム期出生者が相ついで生産年齢期に入り、新規労働力の供給量を増大させつつあるが、やがて生産年齢人口の新規増加の縮減が予想されるとともに、これら若年生産年齢人口が中心となって、上記のような農村から大都市地域への流入が当分の間続くかぎり、人口学的にも、年齢構造の急変を通じて出生力の地域的特性にも影響を及ぼすほか、大都市での「過密」、農村での「過疎」の経済的、社会的諸問題が発生しつつあり、これら地域問題に対する対策はいよいよ重大な課題となりつつある。

後者の地域問題の一面をなす大都市地域への人口集積は、住民登録人口移動の動向からもうかがわれるが、周辺地域への拡大によって大都市地域を中心とし、太平洋沿海から瀬戸内沿海へかけての「メガロポリス化」が進展しつつあることが注目すべき動向となっている。これらの地域がメガロポリス、すなわち、急速かつ持続的な都市化が進行し、従来のメトロポリスを越えた多核的な都市化地域を形成し、人口および経済的、社会的、文化的な中枢機能の集中した地域——現にアメリカ合衆国の北東沿岸にみられるような地域——にまで発展する可能性があるかどうか。最近の人口変動からみてこのような地域の形成が可能であるかどうかを検討するには、まずその可能性の考えられる地域を画定して、その地域的特徴を明らかにする必要がある。この考え方にもとづいて、すでに1950年、1955年、1960年の各国勢調査結果による若干の人口学的な指標——人口集積度を示す人口密度、人口集中地区の有無、人口増加率——を用いて、その画定を試み、それらの地域における人口変動の特徴を明らかにしようとした²⁾。

今回は、この前回の研究に引きつづき、まず前回と同様の人口学的指標を用いはしたが、1965年国勢調査結果による新しい規準を採用することによって、あらためて別にメガロポリス的な地域の区画を行ない、1950年から1965年にいたる15年間の地域内の人口変動を検討したものである。いわば、最近の材料を用い、新しい規準によって人口集積度を再検討した、第2報ともいえるべきである。これについて、これらの規準に該当する地域における人口構造と人口再生産と移動などの特徴を把握してメガロポリス形成の可能性を論じなければならないが、これらは本稿につづく第3報以下に残された課題である。

1) 上田正夫、「都市人口の集積とメガロポリスの形成」、『人口問題研究』、第101号（日本人人口の構造と変動—下—V分布の3）、48～60ページ、1967年2月

2) 上田正夫、「人口集積からみた太平洋沿海、瀬戸内沿海メガロポリスの形成」、『人口問題研究』、第94号、26～48ページ、1965年4月。

2. 新しい規準によるメガロポリス

2.1. 新しい規準

前回においてはメガロポリス的な地域を画定する指標としてまず第1に地域の社会的、経済的、文化的な諸種の特徴を最も総合的に反映するとみられる人口学的な指標——人口集積度、再生産力、流出入、構造など——のうち、人口集積度に関する指標を用いた。今回もそれと同様な指標、すなわち人口集積度を示すものとして、(a)人口密度、(b)市街地的な密集の度を示す人口集中地区を含むかどうかの別、(c)人口再生産と人口流出入の総合結果と考えられる人口増加の程度、の3種を用いている。

しかし、各指標のうち(a)人口密度について、その規準とした全国平均値は、前回では昭和35年には1km²につき253人であったのに対し、今回の40年国勢調査では1km²につき266人であり、これを新しい規準Ⅰとした。また、前回に規準Ⅱとした全国市部平均人口密度は1km²につき、719人であったが、1965年国勢調査結果によると1km²につき760人であるから、これを新しい規準Ⅱとした。

次の指標、(b)人口集中地区を含む市区町村に関しては、人口集中地区そのものの定義は前回の1960年と今回の1965年と全く変更はないが、各地域の発展によっては、前回に集中地区を含まなかったが今回は含まれるようになったものもあり、該当する市区町村に変更があっても、これを規準Ⅲとした。

また、指標(c)についても、前回と同様に1960年から1965年までの間の人口増加がプラスである市区町村についても、指標(b)と同様に、前回には該当しなかったが今回は該当したり、あるいはその逆であったりするけれども、これを規準Ⅳとすることには変わらない。

さて、前回と同様に、規準Ⅰから4までに該当する市区町村を全国にわたって検討すると、やはり京浜大都市地域から中京大都市地域にいたる太平洋沿海と、京阪神大都市地域から瀬戸内沿海とに集中的に分布している³⁾。そこで、前回と同様に、太平洋沿海と瀬戸内沿海の地域において、以上の規準に該当する市区町村のうち、臨海地域と、これに直接的に接続する地域のみを選定してメガロポリス形成の、いわば候補地と考えることとした。こうした地域のうち、規準Ⅰの、1965年国勢調査において全国平均人口密度以上の市区町村の分布は最も広い範囲にわたって分布しているから、これを第1候補として、この地域内において規準ⅡからⅣまでに該当する市区町村の人口分布と、それら各地域の1950年以降1965年までの人口変動を検討した。以下、各規準ごとにそれらの検討結果を、前回のそれと比較しつつ考察してみよう。

2.2. 全国平均人口密度以上(規準Ⅰ)の市区町村

全国平均人口密度は1965年の国勢調査では1km²あたり266人で、前回の規準に比べて5.1%増であるが、この全国平均以上の密度を示す市区町村の人口は、全国では1965年には7,456万に上り、前回の規準Ⅰにおける全国平均密度1km²あたり253人以上の場合の6,924万に比べて、規準とした平均値の上昇にもかかわらず、532万、7.7%の増加を示している。ただし、この該当市区町村の1960年人口は6,787万であって前回規準に該当する地域の人口よりも137万少ない。また、この新規準にあう人口総数は全国人口9,827万の76%に相当するから、前の規準による人口総数が全国人口の70%であったのに比べて相対的にかなり拡大している。

この規準に合う地域のうち、前項に記したとおり、臨海地域とこれに接続する地域は、前回と同じように、関東平野においては東部は茨城県の土浦市、千葉県成田市の線に限ぎられるが、北部と西

3) 濱 英彦、「日本におけるメガロポリスの画定」、『人口問題研究』、第94号、11～25ページ、1965年4月。

表 1 全国平均人口密度 (266人/km²) 以上の市区町村の人口

地域	人 口				増 加 数			増加率(%)		
	1965	1960	1955	1950	1960~65	1955~60	1950~55	1960 ~65	1955 ~60	1950 ~55
メガロ ポリス	46,799,816	40,621,592	36,147,819	31,797,051	6,178,224	4,473,773	4,350,768	15.21	12.38	13.68
太平洋沿海	31,815,616	27,577,964	24,454,143	21,406,635	4,237,652	3,123,821	3,047,508	15.37	12.77	14.24
茨城	725,648	719,004	745,675	744,402	6,644	-26,671	1,273	0.92	-3.58	0.17
栃木	910,104	874,418	877,310	869,054	35,686	-2,892	8,256	4.08	-0.33	0.95
群馬	1,275,363	1,228,997	1,246,065	1,227,567	46,366	-17,068	18,498	3.77	-1.37	1.51
埼玉	2,899,108	2,310,721	2,136,982	2,020,107	588,387	173,739	116,875	25.46	8.13	5.79
千葉	1,696,639	1,249,978	1,102,293	1,013,592	446,661	147,685	88,701	35.73	13.40	8.75
東京	10,814,144	9,625,686	7,977,080	6,215,707	1,188,458	1,648,606	1,761,373	12.35	20.67	28.34
神奈川	4,382,624	3,394,263	2,867,563	2,434,696	988,361	526,700	432,867	29.12	18.37	17.78
岐阜	1,077,969	981,840	912,284	868,361	96,129	69,556	43,923	9.79	7.62	5.06
静岡	2,454,483	2,276,755	2,146,391	1,986,395	177,728	130,364	159,996	7.81	6.07	8.05
愛知	4,663,735	4,057,301	3,611,138	3,229,061	606,434	446,163	382,077	14.95	12.36	11.83
三重	915,799	859,001	831,362	797,693	56,798	27,639	33,669	6.61	3.32	4.22
瀬戸内沿海	14,984,200	13,043,628	11,693,676	10,390,416	1,940,572	1,349,952	1,303,260	14.88	11.54	12.54
滋賀	574,040	552,309	550,672	549,609	21,732	1,636	1,063	3.93	0.30	0.19
京都	1,586,849	1,452,461	1,373,068	1,268,618	134,388	79,393	104,450	9.25	5.78	8.23
大阪	6,638,228	5,485,238	4,598,468	3,833,560	1,152,990	886,770	764,908	21.02	19.28	19.95
兵庫	3,453,747	2,999,626	2,674,565	2,330,919	454,121	325,061	343,646	15.14	12.15	14.74
奈良	684,544	618,809	613,199	601,059	65,735	5,610	12,140	10.62	0.91	2.02
和歌山	559,250	515,241	499,568	473,847	44,009	15,673	25,721	8.54	3.14	5.43
岡山	1,000,086	954,789	929,637	887,383	45,297	25,152	42,254	4.74	2.71	4.76
広島	487,456	465,156	454,499	445,421	22,300	10,657	9,078	4.79	2.34	2.04
全 国	74,560,798	67,870,017	62,751,336	57,041,674	6,690,781	5,118,681	5,709,662	9.86	8.16	10.01

表 2 全国市部平均人口密度 (760人/km²) 以上の市区町村の人口

地域	人 口				増 加 数			増加率(%)		
	1965	1960	1955	1950	1960~65	1955~60	1950~55	1960 ~65	1955 ~60	1950 ~55
メガロ ポリス	39,687,898	33,767,326	29,220,186	24,937,508	5,920,572	4,547,140	4,282,678	17.53	15.56	17.17
太平洋沿海	26,907,289	22,847,750	19,666,909	16,644,163	4,059,539	3,180,841	3,022,746	17.77	16.17	18.16
茨城	129,173	113,852	112,132	105,362	15,321	1,720	6,770	13.46	1.53	6.43
栃木	484,886	453,677	443,079	428,052	31,209	10,598	15,027	6.88	2.39	3.51
群馬	852,903	801,306	798,302	775,398	51,597	3,004	22,904	6.44	0.38	2.95
埼玉	2,223,714	1,655,407	1,466,387	1,351,233	568,307	189,020	115,154	34.33	12.89	8.52
千葉	1,257,177	862,596	720,941	636,639	394,581	141,655	84,302	45.74	19.65	13.24
東京	10,729,760	9,545,890	7,898,463	6,139,354	1,183,870	1,647,427	1,759,109	12.40	20.86	28.65
神奈川	4,103,427	3,159,396	2,640,786	2,215,167	944,031	518,610	425,619	29.88	19.64	19.21
岐阜	728,036	643,319	576,891	531,525	84,717	66,428	45,366	13.17	11.51	8.54
静岡	1,664,748	1,507,892	1,380,966	1,241,191	156,856	126,926	139,775	10.40	9.19	11.26
愛知	4,270,659	3,682,076	3,234,725	2,853,149	588,583	447,351	381,576	15.99	13.83	13.37
三重	462,806	422,339	394,237	367,093	40,467	28,102	27,144	9.58	7.13	7.39
瀬戸内沿海	12,780,609	10,919,576	9,553,277	8,293,345	1,861,033	1,366,299	1,259,932	17.04	14.30	15.19
滋賀	279,044	264,375	258,517	255,305	14,669	5,858	3,212	5.55	2.27	1.26
京都	1,314,840	1,198,568	1,130,738	1,041,230	116,272	67,830	89,508	9.70	6.00	8.60
大阪	6,528,321	5,386,454	4,503,803	3,742,930	1,141,867	882,651	760,873	21.20	19.60	20.33
兵庫	3,102,410	2,655,115	2,312,633	1,985,250	447,295	342,482	327,383	16.85	14.81	16.49
奈良	243,650	219,644	216,288	215,026	24,006	3,356	1,262	10.93	1.55	0.59
和歌山	447,660	405,103	386,219	360,657	42,557	18,884	25,562	10.51	4.89	7.09
岡山	603,786	550,350	518,341	475,838	53,436	32,009	42,503	9.71	6.18	8.93
広島	260,898	239,967	226,738	217,109	20,931	13,229	9,629	8.72	5.83	4.44
全 国	52,261,325	45,597,852	40,222,729	34,872,368	6,663,473	5,375,123	5,350,361	14.61	13.36	15.34

表 3 人口集中地区を含む（1965年において）市区町村の人口

地域	人 口				増 加 数			増加率(%)		
	1965	1960	1955	1950	1960~65	1955~60	1950~55	1960 ~65	1955 ~60	1950 ~55
メガロ ポリス	42,764,184	36,821,439	32,302,536	27,960,742	5,942,745	4,518,903	4,341,794	16.14	13.99	15.53
太平洋沿海	28,784,678	24,735,405	21,581,371	18,528,271	4,049,273	3,154,034	3,053,100	16.37	14.62	16.48
茨城	316,648	296,909	300,013	293,108	19,739	- 3,104	6,905	6.65	-1.03	2.36
栃木	701,539	662,176	654,372	639,927	39,363	7,804	14,445	5.94	1.19	2.26
群馬	1,041,767	988,254	992,353	971,189	53,513	- 4,099	21,164	5.41	-0.41	2.18
埼玉	2,360,460	1,830,024	1,646,609	1,529,302	530,436	183,415	117,307	28.99	11.14	7.67
千葉	1,545,661	1,112,404	965,277	877,854	433,257	147,127	87,423	38.95	15.24	9.96
東京	10,706,166	9,543,438	7,898,624	6,139,623	1,162,728	1,644,814	1,759,001	12.18	20.82	28.65
神奈川	4,213,028	3,257,438	2,737,085	2,307,818	955,590	520,353	429,267	29.34	19.01	18.60
奈良	801,802	715,607	649,667	597,785	86,195	65,940	51,882	12.05	10.15	8.68
岐阜	2,146,880	1,971,385	1,834,698	1,678,715	175,495	136,687	155,983	8.90	7.45	9.29
静岡	4,144,406	3,603,227	3,166,396	2,800,727	541,186	426,824	375,669	15.02	13.44	13.41
愛知	806,321	754,550	726,277	692,223	51,771	28,273	34,054	6.86	3.89	4.92
三重										
瀬戸内沿海	13,979,506	12,086,034	10,721,165	9,432,471	1,893,472	1,364,869	1,288,694	15.67	12.73	13.66
滋賀	371,478	352,546	346,907	342,608	18,932	5,639	4,299	5.37	1.63	1.25
京都	1,501,397	1,376,290	1,297,567	1,193,737	125,107	78,723	103,830	9.09	6.07	8.70
大阪	6,526,610	5,395,844	4,514,146	3,755,499	1,130,766	881,698	758,647	20.96	19.53	20.20
兵庫	3,316,085	2,866,738	2,531,866	2,199,543	449,347	334,872	332,323	15.67	13.23	15.11
奈良	544,088	488,287	482,961	472,203	55,801	5,326	10,758	11.43	1.10	2.28
和歌山	480,467	437,118	418,668	392,837	43,349	18,450	25,831	9.92	4.41	6.58
岡山	826,680	777,707	747,168	704,271	48,973	30,539	42,897	6.30	4.09	6.09
広島	412,701	391,504	381,882	371,773	21,197	9,622	10,109	5.41	2.52	2.72
全 国	65,488,366	58,726,711	53,320,756	47,566,101	6,761,655	5,405,955	5,754,655	11.52	10.14	12.10

表 4 1960~65年間の人口増加がプラスの市区町村の人口

地域	人 口				増 加 数			増加率(%)		
	1965	1960	1955	1950	1960~65	1955~60	1950~55	1960 ~65	1955 ~60	1950 ~55
メガロ ポリス	40,170,550	33,270,266	28,934,656	25,308,381	6,900,284	4,335,610	3,626,275	20.74	14.98	14.33
太平洋沿海	27,994,543	23,262,185	20,170,783	17,490,170	4,732,358	3,091,402	2,680,613	20.34	15.33	15.33
茨城	408,358	385,192	390,327	380,223	23,166	- 5,135	10,104	6.01	-1.32	2.66
栃木	754,995	693,382	685,948	671,985	61,613	7,434	13,963	8.89	1.08	2.08
群馬	983,685	928,201	927,873	909,711	55,484	328	18,162	5.98	0.04	2.00
埼玉	2,593,231	1,995,888	1,805,202	1,682,332	597,343	190,686	122,870	29.93	10.56	7.30
千葉	1,554,302	1,105,457	952,008	863,837	448,845	153,449	88,171	40.60	16.12	10.21
東京	8,792,485	7,456,965	5,949,144	4,548,479	1,335,520	1,507,821	1,400,665	17.91	25.35	30.79
神奈川	4,377,020	3,388,455	2,861,422	2,428,335	988,565	527,033	433,087	29.17	18.42	17.83
奈良	993,192	895,490	823,266	777,051	97,702	72,224	46,215	10.91	8.77	5.95
岐阜	2,161,558	2,001,279	1,831,767	1,672,961	160,279	169,512	158,806	8.01	9.25	9.49
静岡	4,556,449	3,650,972	3,212,773	2,859,091	905,477	438,199	353,682	24.80	13.64	12.37
愛知	819,268	760,904	731,053	696,165	58,364	29,851	34,888	7.67	4.08	5.01
三重										
瀬戸内沿海	12,176,007	10,008,081	8,763,873	7,818,211	2,167,926	1,244,208	945,662	21.66	14.20	12.10
滋賀	378,975	353,348	345,789	340,846	25,627	7,559	4,943	7.25	2.19	1.45
京都	1,160,282	994,318	910,587	840,681	165,964	83,731	69,906	16.69	9.20	8.32
大阪	5,249,297	3,970,378	3,172,465	2,717,900	1,278,919	797,913	454,565	32.21	25.15	16.72
兵庫	3,294,009	2,780,174	2,510,132	2,184,485	513,835	270,042	325,647	18.48	10.76	14.91
奈良	661,974	595,392	589,237	576,574	66,582	6,155	12,663	11.18	1.04	2.20
和歌山	404,452	357,793	339,161	316,889	46,659	18,632	22,272	13.04	5.49	7.03
岡山	740,784	695,505	647,810	602,860	45,279	47,695	44,950	6.51	7.36	7.46
広島	286,234	261,173	248,692	237,976	25,061	12,481	10,716	9.60	5.02	4.50
全 国	57,445,823	49,162,483	43,663,881	38,660,340	8,283,340	5,498,602	5,003,345	16.85	12.59	12.94

表 5 規準Ⅲの市区町村における人口集中地区の人口

地 域	人 口		1960~65年間の増加		該当市区町村人口のうち に占める割合	
	1965	1960	人 口	率	1965	1960
メ ガ ロ ポ リ ス	31,689,197	26,414,146	5,275,051	19.97	74.1	71.7
太 平 洋 沿 海	20,933,489	17,512,109	3,421,380	19.54	72.7	70.8
茨 栃 群 埼 千 東 神 岐 静 愛 三	116,981 308,274 465,774 1,320,350 896,435 10,099,059 3,174,593 418,645 1,126,206 2,636,172 371,000	101,877 272,012 433,198 896,295 522,269 8,907,971 2,410,980 367,556 991,969 2,262,990 344,992	15,104 36,262 32,576 424,055 374,166 1,191,088 763,613 51,089 134,237 373,182 26,008	14.83 13.33 7.52 47.20 71.64 23.47 31.67 13.90 13.15 16.49 7.54	36.9 43.9 44.7 55.9 58.0 94.3 75.4 51.1 52.5 63.6 46.0	34.3 41.1 43.8 49.0 46.9 93.3 74.0 51.4 50.3 62.8 45.7
瀬 戸 内 沿 海	10,755,708	8,902,037	1,853,671	20.82	76.9	73.7
滋 京 大 兵 奈 和 岡 広 島	170,502 1,331,085 5,581,359 2,581,042 229,673 287,362 369,243 205,442	166,286 1,199,995 4,479,050 2,148,572 177,310 239,019 303,337 188,468	4,216 131,090 1,102,309 432,470 52,363 48,343 65,906 16,974	2.52 10.92 24.61 20.13 29.23 20.53 21.73 9.01	45.9 88.7 85.5 77.8 42.2 59.8 44.7 49.8	47.2 87.2 83.0 74.9 36.3 54.7 39.0 48.1
全 国	45,779,315	39,234,076	6,545,239	16.68	59.9	66.9

表 6 各規準による市区町村の人口・増加人口の比重

年次・期間	Ⅰ 全国平均密度以上の市区町村			Ⅱ 全国市部平均密度以上の市区町村			Ⅲ 人口集中地区を含む市区町村			Ⅳ 人口増加が1960~65年間にプラスの市区町村		
	メ ガ ロ ポ リ ス 全 域	太 平 洋	瀬 戸 内	メ ガ ロ ポ リ ス 全 域	太 平 洋	瀬 戸 内	メ ガ ロ ポ リ ス 全 域	太 平 洋	瀬 戸 内	メ ガ ロ ポ リ ス 全 域	太 平 洋	瀬 戸 内
(A) 全国総人口のうち占める比重												
1965	47.6	32.4	15.2	40.4	27.4	13.0	43.5	29.3	14.2	40.9	28.5	12.4
1960	43.5	29.5	14.0	36.1	24.5	11.7	39.4	26.5	12.9	35.6	24.9	10.7
1955	40.3	27.2	13.1	32.7	22.0	10.7	36.1	24.1	12.0	32.4	22.6	9.8
1950	38.2	25.7	12.5	30.0	20.0	10.0	33.6	22.3	11.3	30.4	21.0	9.4
(B) 全国増加人口総数の中占める比重												
1960~65	127.2	87.3	40.0	121.9	83.6	38.3	122.4	83.4	39.0	142.1	97.4	44.6
1955~60	108.0	75.4	32.6	109.8	76.8	33.0	109.1	76.1	32.9	104.6	74.6	30.0
1950~55	71.6	50.2	21.4	70.5	49.7	20.7	71.5	50.2	21.2	59.7	44.1	15.6
(C) 全国の該当市区町村の総人口の中占める比重												
1965	62.8	42.7	20.1	75.9	51.5	24.4	65.3	44.0	21.4	69.9	48.7	21.2
1960	59.9	40.6	19.2	74.1	50.1	23.9	62.7	42.1	20.6	67.7	47.3	20.4
1955	57.6	39.0	18.6	72.6	48.9	23.8	60.6	40.5	20.1	66.3	46.2	20.1
1950	55.8	37.5	18.2	71.5	47.7	23.8	58.8	39.0	19.8	65.1	45.0	20.1
(D) 全国の該当市区町村の増加人口の中占める比重												
1960~65	92.3	63.3	29.0	88.9	60.9	27.9	87.9	59.9	28.0	83.3	57.1	26.2
1955~60	86.8	60.6	26.2	84.6	59.2	25.4	83.6	58.3	25.2	78.8	56.2	22.6
1950~55	76.2	53.4	22.8	80.0	56.5	23.5	75.4	53.0	22.4	75.5	55.8	19.7
(E) メガロポリス全域の総人口の中占める比重												
1965	100.0	68.0	32.0	100.0	67.8	32.2	100.0	67.3	32.7	100.0	69.7	30.3
1960	100.0	67.9	32.1	100.0	67.7	32.3	100.0	67.2	32.8	100.0	69.9	30.1
1955	100.0	67.7	32.3	100.0	67.3	32.7	100.0	66.8	33.2	100.0	69.7	30.3
1950	100.0	67.3	32.7	100.0	66.7	33.3	100.0	66.3	33.7	100.0	69.1	30.9
(F) メガロポリス全域の増加人口の中占める比重												
1960~65	100.0	63.3	36.7	100.0	68.6	31.4	100.0	68.1	31.9	100.0	68.6	31.4
1955~60	100.0	69.8	30.2	100.0	70.0	30.0	100.0	69.8	30.2	100.0	71.3	28.7
1950~55	100.0	70.0	30.0	100.0	70.6	29.4	100.0	70.3	29.7	100.0	73.9	26.1

表 7 メガロポリス内において各規準に該当する市区町村数

地 域	規 準 I			規 準 II			規 準 III			規 準 IV		
	総 数	市	町村	総 数	市	町村	総 数	市	町村	総 数	市	町村
メガロポリス	701	301	400	352	234	118	387	259	128	500	268	232
太平洋沿海	481	186	295	230	145	85	254	147	107	348	179	169
茨 城	32	7	25	2	2	—	7	6	1	13	5	8
栃 木	20	6	14	3	3	—	8	6	2	11	5	6
群 馬	36	11	25	11	7	4	16	11	5	15	10	5
埼 玉	79	23	56	38	19	19	38	23	15	55	22	33
千 葉	27	11	16	11	7	4	17	11	6	19	10	9
東 京	53	37	16	50	34	16	46	27	19	61	45	16
(うち区)		(23)			(23)			(15)			(15)	
神 奈 川	42	23	19	30	21	9	28	21	7	39	21	18
(区)		(10)			(10)			(10)			(10)	
岐 阜	34	8	26	14	5	9	9	8	1	27	8	19
静 岡	49	17	32	21	10	11	27	17	10	34	15	19
愛 知	88	35	53	50	34	16	49	17	32	74	32	42
(区)		(14)			(14)						(12)	
三 重	21	8	13	9	3	6	9	8	1	14	6	8
瀬戸内沿海	220	115	105	122	89	33	133	112	21	152	189	63
滋 京	26	6	20	5	4	1	8	6	2	11	4	7
賀 都	21	10	11	12	9	3	13	10	3	18	8	10
(区)		(9)			(8)			(9)			(7)	
大 阪	65	48	17	58	47	11	56	48	8	51	35	16
(区)		(22)			(22)			(22)			(9)	
兵 庫	34	25	9	19	18	1	24	24	—	29	22	7
(区)		(8)			(8)			(8)			(7)	
奈 良	26	8	18	12	3	9	11	8	3	23	8	15
和 歌 山	12	4	8	5	3	2	6	2	4	5	4	1
岡 山	28	9	19	9	4	5	10	9	1	11	6	5
広 島	9	5	4	2	1	1	5	5	—	4	2	2

部は山麓都市に達し、山地を除く東京都と神奈川県から西方へ太平洋沿海に延びて濃尾平野をおおって伊勢湾沿海に及んでいる。今回も関ヶ原において一応断絶し、琵琶湖南岸から京阪神大都市地域に展開し、大阪湾に沿って和歌山北部に延びるとともに、瀬戸内沿海を西方へ延びて広島へ入り三原市、竹原市にいたるが、やはりここで呉市などとは隔絶する。そこで、前回と同様に、関東から東海沿岸の地域を「太平洋沿海メガロポリス」とし、滋賀県から、京阪神大都市地域を経て広島県東部に及ぶ該当市町村を「瀬戸内沿海メガロポリス」と仮称する。

これらの地域に所属する人口は1965年には4,680万に上り、うち太平洋沿海地域は3,182万、瀬戸内沿海には1,498万であって、太平洋沿海には瀬戸内沿海の2倍以上の人口が所属し、前回よりも太平洋沿海の比重がやや高まっている。また、この地域の所属人口が全国人口に占める比重は48%で、前回の規準Iの地域の人口の比重44%に比べても拡大している。さらに、全国においてこの規準に該当する地域の人口総数7,456万に対しても、太平洋沿海に43%、瀬戸内沿海に20%、合計63%はメガロポリス的地域にあり、その全国の所属人口の約3分の2が集中していることになる(表1,6)。

2.3. 全国市部平均人口密度以上(規準II)の市区町村

1965年国勢調査時の全国市部平均人口密度は、上記のとおり、1km²あたり760人で、前回の規準719人に比べて5.7%の上昇である。この新しい規準に合う市区町村を前項の規準Iによって選んだ地域内についてその分布をみると、前回のとおり、かなり分布が限られている。すなわち、京浜大都市地域ではいうまでもないが、関東平野では東は千葉市に限られるとはいえず、北部は断続しつつ山

麓都市に及び、東海道沿岸を西方へも諸都市をつないで中京大都市地域に及ぶ。また、琵琶湖岸の中部にとんで、京阪神大都市地域から西方へは瀬戸内沿海の主要都市にまで延びている。

これらの市区町村の所属人口は3,969万で、前回の規準に合う市区町村の所属人口3,309万に比べて、規準とした市部平均値の上昇にもかかわらず659万、19.9%の増加を示しており、またこれと同じ境域における1960年の人口も3,377万で前回規準による人口に比べてもやや多く、人口密集度のすでに高い地域にさらに人口集積度が高かったことを推測せしめる。

この新規準にあう人口総数は、全国においては5,226万で、全国人口の53%に相当し、この境域の1960年の人口も4,560万で49%を占めている。すなわち、以前の1960年の規準による全国総数は4,575万で49%をしめていたのに比べてわずかな差にすぎない。このように密集度の高い地域は過去5年間に、規準としての平均値の上昇を考えれば、全国的にみて、絶対的にも相対的にも拡大したことになる。また、メガロポリス的な地域の3,969万は全国におけるこの規準の人口5,226万に対しては76%であり、集中度は規準Ⅰの場合よりは大きい、全国人口に対しては40%に相当し、規準Ⅰの場合にくらべて少ない(表2)。

メガロポリス的な地域の3,969万のうち、太平洋沿海には2,691万が、瀬戸内沿海には1,278万が分布し、規準Ⅰの場合と同様に太平洋沿海には瀬戸内沿海の約2倍の人口が所属している。全国においてこの規準に該当する人口5,226万に対し、太平洋沿海の人口は51%、瀬戸内沿海では24%を占めており、また全国人口に対しては太平洋沿海が27%、瀬戸内沿海が13%に相当している。規準Ⅰに該当する地域の人口のうち、この規準Ⅱに該当する地域の人口はメガロポリス的な地域においては太平洋、瀬戸内の両沿海とも85%に上っているが、高密度地域に所属する地域に人口がいかにか集積しつつあるかを語るに十分である(表6)。

2.4. 人口集中地域を含む市区町村(規準Ⅲ)

人口集中地区の人口は、1965年国勢調査においては、すでに1960年国勢調査時に設定されていた地域での人口増加と、今回新たに設定された地域の人口とを加えて、全国では4,726万、全国人口の48%を占め、1960年国勢調査時の4,083万に比して643万、16%の増加を示している。

この人口集中地区を含む市区町村の人口は全国で6,549万、全国人口の67%を占めているが、このうち65%に相当する4,276万、全国人口の44%に相当する人口がメガロポリス的な地域に所属している。このうち2,878万、すなわち全国の所属人口の44%が太平洋沿海に、残りの1,398万、全国の所属人口の21%が瀬戸内沿海に分布し、やはり太平洋沿海には瀬戸内沿海の約2倍の人口が所属している。

その分布は、規準Ⅰの地域内においてかなり広く分布し、規準Ⅱの場合と異なって周辺地域にまで及び、その間に該当しない町村が散在するという形を示している。したがって、その所属人口も、規準Ⅰに該当する人口よりは404万少ないが、規準Ⅱのそれに比べると308万多い。すなわち、規準Ⅰの地域内の該当地域の所属人口のうち、規準Ⅲに該当する地域の人口は、全国では88%に上るが、メガロポリス地域内では91%に上るのに対し、その他の地域では82%にすぎず、さらにメガロポリス内において太平洋沿海地域では90%なのに対し、瀬戸内沿海地域では93%に上っている。このことは、規準Ⅱの場合と異なり、人口集中地区を含む市区町村の人口はメガロポリス以外の地域でも人口密度が全国平均値以上の地域内にはかなり分布していることを示し、京浜大都市地域から中京大都市地域へかけてよりも、京阪神大都市から瀬戸内沿海にかけての方が、規準Ⅰの地域内での相対的な分布がより多いことを示している。なお、メガロポリスの該当地域の所属人口は全国人口の44%を占めるが、太平洋沿海のそれは同じく29%を、瀬戸内沿海のそれは14%を占めている(表3)。

この規準Ⅲの地域内における人口集中地区そのものに所属する人口はメガロポリス全域では 3,169 万、それらの市区町村人口総数の74%に相当している。全国における規準Ⅰの市区町村内での規準Ⅲに適合する市区町村人口 6,549 万のうち人口集中地区の所属人口は70%に相当するのに比べると、このような人口密集地域に属する人口がメガロポリス内により多いことを示している。この全国の規準Ⅲに所属の人口集中地区人口 4,578 万は全国人口の47%に当り、メガロポリス内での 3,169 万は32%に当り、全国の人口集中地区の人口総数 4,726 万に対する規準Ⅲのその 4,578 万は97%をも占め、メガロポリス内の規準Ⅲの集中地区人口 3,169 万は67%であるから、この点からも人口集中地区人口の3分の2という集中度を示している。

メガロポリス内の太平洋沿海では規準Ⅲの地域の所属人口 2,878 万のうち人口集中地区の人口は 2,093 万で73%を占めるのに対し、瀬戸内沿海ではこの規準の地域の所属人口 1,398 万のうち人口集中地区の人口は 1,076 万で77%を占め、瀬戸内沿海の方がこの規準の市区町村内で集中地区の所属人口の比重はやや大きい。また、全国人口に対するメガロポリス内の人口集中地区の人口は32%なのに対し、太平洋沿海のそれは21%、瀬戸内沿海のそれは11%で、両者は2:1の比を示している。さらに、全国の人口集中地区人口 4,726 万に対しては、太平洋沿海の集中地区人口は44%の、瀬戸内沿海のそれは23%の比重を占めている(表5)。

2.5. 人口増加が1960~65年間にプラスの市区町村

1960~65年間に人口増加がプラスであった市区町村数は、1965年国勢調査時の 3,376 のうち 802、すなわち24%にすぎなかったが、この間には区制をしく大都市の都心地域でも人口減少を示した区が少なくなかった⁴⁾。このような大都市では各區別に算えて、全国各市区町村のうち、この5年間に人口増加がプラスの地域の所属人口は 5,745 万で、規準Ⅱの所属人口に比べて 518 万多いのみであって、全国人口の58%に相当している。すなわち、規準Ⅲの人口集中地区を含む市区町村の所属人口よりは少ないが、規準Ⅱの市部平均人口密度以上の市区町村の所属人口より多いという程度である。

この 5,745 万のうち、メガロポリス的な地域に所属するのは 4,017 万、70%であり、太平洋沿海には 2,799 万、49%が分布し、瀬戸内沿海には 1,218 万、21%が分布している。したがって、全国人口のうちに占める比重は太平洋沿海の所属人口は29%に相当し、瀬戸内沿海のそれは12%に相当することになり、瀬戸内沿海の所属人口に比べて太平洋沿海のそれが、規準Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの場合と異なり、2倍をかなり越えていることになる(表6)。

全国においてはこの規準Ⅳに適合する市区町村人口 5,745 万は、規準Ⅰに該当する市区町村人口の77%を占めているが、メガロポリス的な地域においては86%を占め、その他の地域では62%を占めるにすぎない。また、メガロポリスにおける、そうした比重は太平洋沿海では88%で、瀬戸内沿海の81%に比べて人口増加がプラスの地域に所属する人口が相対的に多いことを示している。

これらの地域の具体的な分布は、京浜大都市地域の周辺には広範囲に連続しているが、関東北部では山麓都市とその周辺に限られる。東海道に沿ってかなり連続しているが、やはり中京大都市地域を中心として広く拡がっている。その西方へはかなり離なれて京阪神大都市地域においてまた広く拡がり、瀬戸内沿海を西方へ連続するが、岡山県へ入り広島県東部へかけては断絶している。また、京浜中京、京阪神の大都市における中心地域に減少地域が現われて、いわゆる大都市人口増加率のドーナツ型分布が明らかになったことは前回になかった特徴である。

4) 館 稔,「日本人口地域分布変動の動向——1965年国勢調査結果にみる——」,『地域開発』,第16号,5~27ページ,1966年1月。

3. メガロポリス地域の各規準別にみた人口集積度

3.1. 人口集積度の変化

以上は新しい規準によって設定した規準Ⅰの、メガロポリス的地域において、規準Ⅱ～Ⅳのそれぞれの1965年調査による人口がいかなる比重を占めるかを考察したものである。次に、この1965年調査時の境域によって各規準に該当する市区町村の人口が1950年以降1965年までの15年間にどのように集積してきたかを検討する。

3.2. 全国平均人口密度以上（規準Ⅰ）の市区町村

仮設的なメガロポリスの範囲とした規準Ⅰの地域はもっとも広い地域であり、所属人口も全国人口の半分に近いものであるが、全く同じ境域における1950年人口は3,180万で全国人口の38%にすぎなかった。しかし、1955年には全国人口の40%、1960年には43%、1965年には48%で、その比重を引きつづき拡大してきている。全国でこの規準に該当する市区町村の人口も、1950年の5,704万、全国人口の69%から、1965年の76%までその比重を増大させている。しかし、この全国の該当市区町村の所属人口のなかでメガロポリス内の所属人口の占める比重は1950年の56%から、1955年には58%、1960年には60%、1965年には63%と相対的地位がメガロポリスにおいて拡大をつづけてきた。

メガロポリス内の太平洋沿海の所属人口は1950年には2,141万、全国人口の26%にすぎなかったのに、1965年には3,182万、32%に、人口数、比重とも拡大をみせている。これに対し、瀬戸内沿海の所属人口は1950年の1,039万、全国人口の12%から、1965年の1,498万、15%まで拡大しているが、その程度は太平洋沿海の方がはるかに大きい。

メガロポリスの所属人口の増加数は1950～55年の435万から、1955～60年の447万に、1960～65年の618万にと増大をつづけ、全国総人口の増加に比べて1950～55年には72%を占めていたのに、その後は各期間とも全国の増加数を上回る増加を示し、メガロポリス以外の地域での人口減少を物語っている。また、全国の規準Ⅰに該当する市区町村人口の増加数に対してメガロポリスのそれは1950～55年には76%を占めていたのに、1955～60年には87%を、1960～65年には92%をも占めることとなって、メガロポリス内の人口集積の著しい強化を示している（表6）。

このうち太平洋沿海での増加数は、1950～55年の305万から、1955～60年には312万に増加した程度であるが、1960～65年には424万にも増大しており、全国の規準Ⅰの該当地域での増加に対しては1950～55年の53%から1955～60年には61%に拡大し、1960～65年には63%にその比重を拡大させている。しかし、瀬戸内沿海も1950～55年の130万から、1955～60年の135万に、1960～65年には194万にも増大しており、全国の規準Ⅰの該当地域での増加人口に対する比重も1950～55年には23%、1955～60年には26%、1960～65年には29%に拡大をつづけている。したがって、メガロポリスでの増加人口のうち、太平洋沿海での増加は1950～55年、1955～60年には各70%であったのが、1960～65年には63%に下がって、瀬戸内沿海での増加が最近やや高まったことを示している（表1, 6）。

メガロポリスに所属する人口の増加率は、1950～55年の14%から、1955～60年には12%にやや低下した後、1960～65年には15%に上昇している。全国人口の増加率が1950～55年の7.3%から1955～60年の4.6%に低下して1960～65年には4.9%に上昇しているのと傾向としては同様であるが、増加率そのものは、メガロポリスでは1950～55年の全国人口の約2倍から1960～65年には3倍にとその上昇が著しい。メガロポリスのうち、太平洋沿海では1950～55年の14%から1955～60年の13%へ下がって1960～65年の15%に上昇しているのに対し、瀬戸内沿海では12.5%から11.5%、14.9%へと変化しており、増加数と同様に増加率も太平洋沿海との差を縮小している（表1）。

なお、全国における規準Ⅰの該当地域の人口増加率も1950～55年の10.0%から1955～60年には8.2%に、1960～65年には9.9%となって、全国人口の増加率よりは高いが、その差は接近する傾向にある(表1)。

3.3. 全国市部平均人口密度以上(規準Ⅱ)の市区町村

規準Ⅰの中でのかなり限られた地域である規準Ⅱに該当する地域の所属人口は、1965年には3,969万で、全国人口の40%を占めているが、同じ境域による1950年の人口は2,494万で全国人口の30%にすぎなかったのが、1955年には33%に、1960年には36%にと各年その比重を拡大してきたのである。

全国でこの規準Ⅱに該当する市区町村の人口も、1950年の3,487万、41%から、1965年の5,226万53%へと拡大をつづけてきている。しかし、この全国の該当市区町村の所属人口のなかでメガロポリス内の所属人口の占める比重は規準Ⅰの場合よりは著しく多く、1950年の72%から1955年には73%に1960年には74%に、1965年には76%とやはり相対的な拡大を示している(表6)。

メガロポリス内の太平洋沿海の所属人口は1950年には1,664万、全国人口の20%にすぎなかったのが、1955年には22%、1960年には24%に、1965年には2,691万、27%と、人口数、比重とも拡大している。これに対し、瀬戸内沿海の所属人口は1950年の829万、全国人口の10%から、1965年には1,278万、13%まで拡大している。したがって、全国人口のうちに占める比重も、太平洋沿海の方が約2倍であり、全国の規準Ⅱに該当する市区町村の所属人口のうちに占める比重も、太平洋沿海では1950年の48%から1965年の51%まで拡大しているのに、瀬戸内沿海のそれは各年24%でほとんど変わっていない(表6)。

メガロポリスの所属人口の増加数は1950～55年の428万から、1955～60年の455万に、1960～65年の592万に増大し、規準Ⅰの所属人口の増加数のうち1950～55年には98%を占め、1955～60年には規準Ⅰの増加を上まわり、1960～65年には96%を占めている。全国総人口の増加に比べても1950～55年には71%を占めていたが、その後はやはり全国の増加数をこえる増加をみせている(表6, (B))。

同じ規準Ⅱに該当する全国市区町村人口の増加数に対し、メガロポリスのそれは、1950～55年には80%を占めていたが、1955～60年には85%を、さらに1960～65年には89%をも占めており、規準Ⅰの場合と同様にすでに密集度の高い地域での人口の集積がメガロポリスにおいてより強化していることを示している。

このうち、太平洋沿海での増加数は、1950～55年の302万から1955～60年の318万に増加したが、1960～65年にはさらに406万に増加数が拡大しており、全国の規準Ⅱの地域での増加のうちに占める割合は、1950～55年の57%から1960～65年には61%に拡大している。これに対し、瀬戸内沿海での増加数は1950～55年の126万から、1955～60年の137万に増大した程度であったが、1960～65年には186万にも増加数が拡大している。全国の規準Ⅱの地域での増加数に対しても1950～55年の24%から1955～60年の25%に、1960～65年の28%へと拡大をつづけている。その結果、メガロポリスの増加のうち、太平洋沿海での増加の比重は、1950～55年の71%から1960～65年の69%に低下し、瀬戸内沿海でのこうした密集度の高い地域での増加の方がやや大きいことを示している(表6 (D), (F))。

人口増加率はメガロポリスに所属する人口総数では1950～55年の17%から1955～60年の16%にやや低下して、1960～65年には18%にやや上昇しており、やはり全国人口増加率の傾向と同様ではあるが増加率ははるかに高く、規準Ⅰの該当地域の増加率よりもかなり上まわっている(表2)。

太平洋沿海の増加率は1950～55年の18%から1955～60年には16%に低下して1960～65年の18%に戻ったのに対し、瀬戸内沿海では1950～55年の15%から、1955～60年の14%、1960～65年の17%へと変化し、増加数と同じくやはり太平洋沿海との差が縮小してきている。

また、全国における規準Ⅱに該当する地域の人口増加率は1950～55年には15%で瀬戸内沿海と等しかったが、1955～60年には13%に低下、1960～65年には15%に戻ったとはいえ、メガロポリス各地域の増加率よりは低率である。

3.4. 人口集中地区を含む市区町村（規準Ⅲ）

規準Ⅰの中においてかなり広く分布している規準Ⅲの所属人口が全国人口のうちに占める割合は、1950年には34%であったが、1965年には44%に拡大し、人口数も1950年の2,796万から1965年の4,276万に増加している。

全国でこの規準に該当する市区町村人口も1950年の4,757万から1965年の6,549万に達し、全国人口に対する比重も1950年の57%から1965年の67%まで拡大をつづけてきた。そこで、全国の該当市区町村の所属人口のなかでメガロポリス内のそれは、1950年には59%であったが、1965年には65%となって相対的な拡大は規準Ⅰ、Ⅱの場合と同様である。

このうち太平洋沿海の所属人口は1950年の1,853万、全国人口の22%から、1965年の2,878万、29%に拡大している。瀬戸内沿海の所属人口も1950年の943万から1965年の1,398万に増大しているが、その比重は1950年の11%から1965年の14%まで拡大の度は太平洋沿海ほどではない。そこで、全国の規準Ⅲに該当する地域の所属人口のうちに占める比重も、瀬戸内沿海は1950年の20%から1965年に21%になったにすぎないが、太平洋沿海では1950年の39%から1965年には44%にまで拡大している。

メガロポリスにおける所属人口の増加数は1950～55年の434万から1960～65年には594万にも拡大して、やはり1950～55年には全国の増加人口の71%であったが、その後は全国の増加数をこえている。これらの増加数は規準Ⅱの増加数とほぼ同じ程度であり、全国の規準Ⅲの該当地域における増加数に対しても1950～55年には75%を占めていたのに、1960～65年には88%にも拡大し、やはりこうした地域での人口集積度がメガロポリスにおいてはるかに大きいことを示している（表3, 6）。

以上のうち、太平洋沿海での増加数は1950～55年の305万から1955～60年には315万にやや増大しただけであったが、1960～65年には405万に上っており、全国の規準Ⅲの該当地域での増加数のうちにしめる比重も1950～55年の53%から1960～65年には60%に拡大している。瀬戸内沿海での増加数は1950～55年の129万から1960～65年には189万に増加し、全国の規準Ⅲの地域での増加数のうち1950～55年の22%から1960～65年には28%に拡大している。これらの増加数が全国と同じ規準の該当地域における増加のうちに占める比重も前項の規準Ⅱの場合と同じ程度である。なお、メガロポリス内での増加総数のうち太平洋沿海での増加が占める比重も1950～55年には70%であったのが、1960～65年には68%にやや縮小していることは、規準Ⅱの場合と同じ程度である。

メガロポリスに所属する規準Ⅱの人口増加率は1950～55年の15.5%から1955～60年の14.0%にやや低下した後1960～65年には16%に上昇しており、規準Ⅰの地域の増加率よりはやや高いが、規準Ⅱのそれよりはやや低い。太平洋沿海の増加率は1950～55年の16.5%から1955～60年には14.6%、1960～65年には16.4%と推移したのに対し、瀬戸内沿海のそれは1950～55年の13.7%から1955～60年の12.7%に低下した後1960～65年には15.7%に上昇している。すなわち、瀬戸内沿海での増加率は太平洋沿海でのそれよりもやや低い、最近の上昇によってややその差を縮小している。

なお、全国の規準Ⅲの該当地域における人口増加率は1950～55年の12.1%から1955～60年には10.1%に、1960～65年には11.5%になったが、メガロポリスにおける所属人口の増加率に比べると、はるかに低率であることがわかる（表3）。

規準Ⅲの市区町村における人口集中地区そのものの人口は、メガロポリス内では1960年の2,641万、全国人口の28%から1965年の3,169万、同じく32%まで拡大している⁶⁾。この人口は全国の規準Ⅲに

該当する地域の人口集中地区の人口に対し、1960年の67%から1965年には69%まで拡大したことになり、全国の人口集中地区の人口総数に対しては1960年の65%から1965年の67%まで拡大したことになる(表5)。

該当する地域における人口集中地区の増加人口は528万に上り、全国総人口の増加を上まわることはもちろん、全国の規準Ⅲの該当地域の集中地区の増加数の80%に相当していて、メガロポリス以外の地域においては人口集中地区自体の人口増加はかなり少ないことを意味している。

メガロポリスの人口集中地区人口の増加率は20%に上り、全国の人口集中地区の人口増加率16%、および全国の規準Ⅲの中の人口集中地区人口のその17%に比べてはるかに高率を示している。またメガロポリス内では、太平洋沿海の人口集中地区の人口増加率は20%にも上り、瀬戸内沿海の21%よりもやや低い。

3.5. 人口増加が1960~65年間にプラスの市区町村(規準Ⅳ)

この規準Ⅳに該当する市区町村の所属人口は規準Ⅱの該当地域の人口とほぼ等しいが、同じ境域による1950年の人口は2,531万で全国人口の30%に相当していた。その後、1955年には2,893万、全国人口の32%、1960年には3,327万、36%となり、1965年に4,017万、41%に拡大している。

全国でこの規準に該当する市区町村の人口も1950年の3,866万、全国人口の47%から、人口数、比重とも拡大をつづけて1960年には4,916万、53%に、1965年には5,745万、58%とよりいっそう拡大した。その結果、全国のこの規準に該当する地域の人口のうちメガロポリスの所属人口の比重は1950年の65%から、しだいに拡大して1965年には70%を占めることとなり、相対的にメガロポリスの比重は拡大している(表4, 6(A), (C))。

メガロポリス内の太平洋沿海の所属人口は1950年の1,749万、全国人口の21%から1965年の2,799万同じく28%まで人口、比重とも拡大している。これに対し、瀬戸内沿海の所属人口は1950年の782万、全国人口の9%から1965年の1,218万、12%まで拡大しているが、その程度は太平洋沿海よりは緩慢である。全国においてこの規準Ⅳに該当する地域の所属人口に対して、瀬戸内沿海の人口の比重は1950年の20%から1965年の21%までほとんど変わらないのに、太平洋沿海のそれは1950年の45%から1965年の49%まで拡大がより著しい。

メガロポリスの所属人口の増加数は1950~55年には363万で、全国の増加人口総数608万の60%にすぎなかったのに、1955~60年には434万、1960~65年には690万に増大していずれも全国増加人口を上まわっている。

同じ規準Ⅳに該当する全国の市区町村人口の増加数は1950~55年の500万から、1955~60年には550万に、1960~65年には828万に増加している。したがって、メガロポリスの所属人口の増加数がこの全国の所属人口の増加数のうちに占める割合は1950~55年の75%から1955~60年には79%に、1960~65年には83%に拡大している。同じような比重は太平洋沿海では1950~55年と1955~60年には56%で、1960~65年に57%に拡大した程度なのに、瀬戸内沿海では1950~55年の20%から1955~60年には23%に、1960~65年には26%にまで拡大の度が太平洋沿海より大きい。すなわち、メガロポリス全域での所属人口の増加のうち太平洋沿海での増加が占める比重は1950~55年の74%から1960~65年の69%まで縮小し、このような地域での人口増加が瀬戸内地域でその速度がやや大きいことは規準Ⅱの場合と同様である。

5) 人口集中地区の1960年の人口は、1965年の境域に組替えてない、ただ、これを含む市区町村の人口についてのみ、1965年の境域に組替えられている。したがって、増加の中には、新設の集中地区の人口による増加が含まれている。

メガロポリスに所属する該当地域の人口増加率は1950～55年の14%から1955～60年には15%となりさらに1960～65年には21%となって最近の上昇が著しい。全国の該当地域の人口増加率も1950～55年と1955～60年はともに13%、1960～65年には17%に上昇しているが、各期間ともメガロポリスの所属人口よりもかなり低い。メガロポリス内で太平洋沿海の所属人口の増加率は1950～55年、1955～60年の各15%から1960～65年の20%まで最近ほど上昇している。これに対し、瀬戸内沿海では1950～55年の12%から1955～60年には14%で、太平洋沿海よりも低かったが、1960～65年には22%で太平洋沿海よりもやや上昇が著しい(表4)。

なお、全国で規準Ⅳに該当する地域の人口増加率は上記のとおり、1950～55年、1955～60年には瀬戸内沿海の率とほとんどかわらなかったが、1960～65年には17%に上昇したとはいえ、メガロポリスの増加率との差は開いた。すなわち、この規準に該当する地域においても、メガロポリスの地域における人口集積が最近になるほど強化していることが認められる。

4. 結 言

以上、前回と同様に人口学的な指標を用い、新しい規準を採用し、1965年国勢調査の材料によってメガロポリス的領域における最近の人口集積について検討を加えた。規準ⅠおよびⅡの場合、規準とした密度値によって、該当する市区町村の人口は1960年についてはやや縮小する程度である。しかし、境域が1965年に換算統一してあり、新らしく加わった地域の人口と、前回の規準で含まれていた地域での人口増加とによって1965年現在の人口は、前回の規準による1960年人口をかなり大幅に上回る大いさを示している。

各規準について検討の結果は、根本的には前回の規準によるものと大きな変化はないが、各規準を通じて、前回以後すなわち1960～65年間に人口集積を高めていることが明らかである。各規準による人口は1965年においては、いずれも全国人口の40%以上の比重を示し、とくに規準Ⅰの場合は48%にも上っている。この稿では各規準に該当する市区町村の分布図や面積は掲げることができなかったが、前回に比べて周辺地域に拡大が認められ、太平洋沿海と瀬戸内沿海の限られた地積の上に日本人口の40～50%の人口が分布している。

メガロポリス全域における人口増加は、各規準とも1955～65年間には全国増加人口をこえる増加を示しており、それだけメガロポリス以外の地域における人口減少が強化されていることを反映している。これらは、特に規準Ⅳの地域——当然のことでもあるが——において最も特徴的であり、ついで規準Ⅰの最も広範囲にわたる地域について著しい。

もちろん、各規準に該当する市区町村は全国的にみても各地域に分布し、特に規準Ⅲに該当する地域は広く散在的ではあるが、はじめに記したとおり、メガロポリスと仮定した地域においてやはり最も集中している。すなわち、これら全国の該当市区町村人口のうちメガロポリスに所属する人口は、1965年に最も比重の少ない規準Ⅰの場合でも63%を占め、ついで規準Ⅲの場合は65%を、規準Ⅳでは70%に上り、規準Ⅱの場合は最も著しくて76%をも占めている。

増加人口の場合はさらに著しく、全国の該当市区町村の増加人口のうちに占めるメガロポリスの増加人口は、最も少ない規準Ⅳの場合でも83%に上り、ついで規準Ⅲでは88%、規準Ⅱでは89%を占め最も多い規準Ⅰの場合は92%をも占めていて、人口集積におけるメガロポリスの地位の大きいことに注目させられるのである。

メガロポリスの地域内についてみれば、所属人口そのものの比重は太平洋沿海の人口は瀬戸内沿海の人口の約2倍であったが、最近では太平洋沿海の比重が、各規準ともやや拡大しつつあると考えら

れる。しかしながら、増加人口の比重についてみれば、かつては太平洋沿海が2倍以上を占めていたのに、最近その比重を縮小している傾向も認められる。それは、特に規準Ⅰの場合に著しいが、他の各規準の場合は太平洋沿海の比重は現在は瀬戸内沿海のその2倍以上ではあっても以前よりはやや縮小をみせているのである。

人口集中度と人口増加率という、比較的単純な、それだけに総括的な指標によってみるかぎり、仮設的なメガロポリスとした地域における人口集積は、前回に検討したよりはむしろ強化されていることが明らかである。約言すれば、それはすでに従前から人口集積度の高かった地域への人口集積が最近いっそう増大しているということである。ただし、最近の特徴は、3大都市地域にあっては中心地域は人口減少に転じて、周辺地域に人口増加が著しいことである。このことは、大都市地域の外延的拡大としてすでに前回にも指摘してはいるが、その後の人口移動や1965年国勢調査結果によってなおいっそう裏づけられたところである。ただし、その結果としては、周辺地域のスプロール化の結果として、とくに居住関係や生活環境からみて、大都市政策論的に大いに問題とされる現象を発生している⁶⁾。

これら人口集積の実態が今後どのように変容していくかは、たとえば人口移動の動向がどのように変化していくかによって大いに左右されるが、人口移動を動かす要因の中には、これを促進する要因と抑制する要因が複雑に作用しあうために、その予測は著しく困難である。したがって、この仮設的メガロポリスが真の意味におけるメガロポリスになるかどうかの可能性にもわかに速断することは困難である。本稿は、最近の傾向によってメガロポリス化の方向へよりいっそう進んだことだけを指摘して、この可能性については、前に記したとおりの、他の人口学的資料による検討と、それらの動向と経済的、社会的諸条件との関係の詳細な分析にまたなければならない⁷⁾。

6) 上田正夫、「居住関係からみた京浜大都市地域の外延的拡大」、『人口問題研究所年報』、第10号（昭和40年度）、7～10ページ、1965年10月。

7) メガロポリスの形成に関する関係論稿にはすでに掲げたもの以外に次の諸論稿を参照。

館 稔、「日本におけるメガロポリスの人口学的研究序説」、『人口問題研究』、第94号、1～10ページ、1965年4月。

濱 英彦、「日本におけるメガロポリスの画定」、『人口問題研究』、第94号、11～25ページ、1965年4月。

黒田俊夫、「メガロポリスの人口学的検討——3大都市圏における人口流動密度の比較」、『人口問題研究所年報』、第10号、4～6ページ、1965年10月。

黒田俊夫、「人口移動からみたメガロポリスの形成とその問題点」、『人口問題研究』、第95号、1～10ページ、1965年7月。

河野稠果、「人口移動からみたメガロポリスの特徴」、『人口問題研究』、第95号、11～20ページ、1965年7月。

皆川勇一・高橋辰子、「メガロポリス形成と農業・農村の構造変化」、『人口問題研究』、第95号、21～35ページ、1965年7月。

黒田俊夫、「メガロポリスの人口学」、『都市問題研究』、第17巻第9号、27～39ページ、1965年9月。

上田正夫、「日本における人口集積とメガロポリスの形成」、『都市問題研究』、第18巻第1号、26～39ページ、1966年1月。

付表1 全国平均人口密度(266人/km²)以上の市区町村の人口

都道府県	人 口				増 加 数			増 加 率		
	1965	1960	1955	1950	1960~65	1955~60	1950~55	1960 ~65	1955 ~60	1950 ~55
総 数	74,560,798	67,870,017	62,751,336	57,041,674	6,690,781	5,118,681	5,709,662	9.86	8.16	10.01
北 海 道	2,100,807	1,846,523	1,625,976	1,426,549	254,284	220,547	199,427	13.77	13.56	13.98
青 岩 宮 城 手 森	751,729	728,695	683,388	618,970	23,034	45,307	64,418	3.16	6.63	10.41
宮 城 手 森	274,262	252,522	236,483	217,250	21,740	16,039	19,233	8.61	6.78	8.85
宮 城 手 森	1,120,060	1,060,724	1,021,072	954,976	59,336	39,652	66,096	5.59	3.88	6.92
秋 田 形 島	431,450	430,781	420,088	399,408	669	10,693	20,680	0.16	2.55	5.18
福 形 島	555,631	559,786	562,448	561,445	-4,155	-2,662	1,003	-0.74	-0.47	0.18
福 形 島	1,087,058	1,081,275	1,079,179	1,043,316	5,783	2,096	35,863	0.53	0.19	3.44
茨 木 城 手 森	1,499,089	1,455,669	1,443,590	1,413,910	43,420	12,079	29,680	2.93	0.84	2.10
新 玉 葉 京 川	970,260	935,143	939,516	932,907	35,117	-4,373	6,607	3.76	-0.47	0.71
新 玉 葉 京 川	1,275,363	1,228,997	1,246,065	1,227,567	46,366	-17,068	18,498	3.77	-1.37	1.51
新 玉 葉 京 川	2,899,108	2,310,721	2,136,982	2,020,107	588,387	173,739	116,875	25.46	8.13	5.79
新 玉 葉 京 川	2,389,304	1,968,392	1,845,770	1,770,210	420,912	122,622	75,560	21.38	6.64	4.27
新 玉 葉 京 川	10,814,144	9,625,686	7,977,080	6,215,707	1,188,458	1,648,606	1,761,373	12.35	20.67	28.34
新 玉 葉 京 川	4,382,624	3,394,263	2,867,563	2,434,696	988,361	526,700	432,867	29.12	18.37	17.78
新 玉 葉 京 川	1,484,890	1,450,865	1,432,372	1,399,547	34,025	18,493	32,825	2.35	1.29	2.35
新 玉 葉 京 川	705,932	696,401	682,807	664,310	9,531	13,594	18,497	1.37	1.99	2.78
新 玉 葉 京 川	611,177	583,603	567,894	552,130	27,574	15,709	15,764	4.72	2.77	2.86
新 玉 葉 京 川	377,293	364,535	352,820	345,958	12,758	11,715	6,862	3.50	3.32	1.98
山 梨 野 草	393,346	387,491	393,411	384,983	5,855	-5,920	8,428	1.51	-1.50	2.19
山 梨 野 草	1,010,012	979,221	974,943	976,018	30,791	4,278	-1,075	3.14	0.44	-0.11
山 梨 野 草	1,131,368	1,032,428	961,992	915,243	98,940	70,436	46,749	9.58	7.32	5.11
静 岡 岡 知 重	2,483,128	2,304,142	2,173,760	2,014,679	178,806	130,382	159,081	7.76	6.00	7.90
静 岡 岡 知 重	4,663,735	4,057,301	3,611,138	3,229,061	606,434	446,163	382,077	14.95	12.36	11.83
静 岡 岡 知 重	1,037,847	984,361	960,628	926,187	53,486	23,733	34,441	5.43	2.47	3.72
滋 賀 賀 都 阪 庫 良 山	615,217	593,415	592,226	591,766	21,802	1,189	460	3.67	0.20	0.08
滋 賀 賀 都 阪 庫 良 山	1,702,168	1,570,199	1,493,423	1,388,145	131,969	76,776	105,278	8.40	5.14	7.58
滋 賀 賀 都 阪 庫 良 山	6,638,228	5,485,238	4,598,468	3,833,560	1,152,990	886,770	764,908	21.02	19.28	19.95
滋 賀 賀 都 阪 庫 良 山	3,686,369	3,241,886	2,930,073	2,594,615	444,483	311,813	335,458	13.71	10.64	12.93
滋 賀 賀 都 阪 庫 良 山	684,544	618,809	613,199	601,059	65,735	5,610	12,140	10.62	0.91	2.02
滋 賀 賀 都 阪 庫 良 山	742,708	693,819	676,263	645,970	48,889	17,556	30,293	7.05	2.60	4.69
鳥 島 岡 取 根 山 島 口	334,238	331,925	333,867	316,899	2,313	-1,942	16,968	0.70	-0.58	5.35
鳥 島 岡 取 根 山 島 口	320,416	323,045	324,359	311,995	-2,629	-1,314	12,364	-0.81	-0.41	3.96
鳥 島 岡 取 根 山 島 口	1,106,436	1,065,000	1,042,348	998,857	41,436	22,652	43,491	3.89	2.17	4.35
鳥 島 岡 取 根 山 島 口	1,709,915	1,546,146	1,458,861	1,369,344	163,769	87,285	89,517	10.59	5.98	6.54
鳥 島 岡 取 根 山 島 口	1,233,622	1,243,848	1,220,992	1,154,141	-10,226	22,856	66,851	-0.82	1.87	5.79
德 香 愛 高 島 川 媛 知	475,555	473,669	475,702	468,893	1,886	-2,033	6,809	0.40	-0.43	1.45
德 香 愛 高 島 川 媛 知	797,199	807,723	825,695	822,396	-10,524	-17,972	3,299	-1.30	-2.18	0.40
德 香 愛 高 島 川 媛 知	946,676	944,984	945,010	918,285	1,692	-26	26,725	0.18	-0.00	2.91
德 香 愛 高 島 川 媛 知	330,093	311,716	302,765	287,847	18,377	8,951	14,918	5.90	2.96	5.18
福 佐 長 熊 大 宮 鹿 児	3,653,489	3,665,570	3,497,363	3,152,784	-12,081	168,207	344,579	-0.33	4.81	10.93
福 佐 長 熊 大 宮 鹿 児	738,442	784,671	806,658	782,362	-46,229	-21,987	24,296	-5.89	-2.73	3.11
福 佐 長 熊 大 宮 鹿 児	1,327,167	1,408,942	1,381,801	1,289,106	-81,775	27,140	92,696	-5.80	1.96	7.19
福 佐 長 熊 大 宮 鹿 児	1,190,508	1,206,229	1,211,157	1,153,656	-15,721	-4,928	57,501	-1.30	-0.41	4.98
福 佐 長 熊 大 宮 鹿 児	609,007	598,649	603,215	577,104	10,358	-4,566	26,111	1.73	-0.76	4.52
福 佐 長 熊 大 宮 鹿 児	513,861	496,462	480,818	444,706	17,399	15,644	36,112	3.50	3.25	8.12
福 佐 長 熊 大 宮 鹿 児	755,323	738,547	740,107	693,048	16,776	-1,560	47,059	2.27	-0.21	6.79

付表 2 全国市部平均人口密度 (760人/km²) 以上の市区町村の人口

都道府県	人 口				増 加 数			増 加 率		
	1965	1960	1955	1950	1960~65	1955~60	1950~55	1960 ~65	1955 ~60	1950 ~55
総 数	52,261,325	45,597,852	40,222,729	34,872,368	6,663,473	5,375,123	5,350,361	14.61	13.36	15.34
北 海 道	1,611,173	1,374,079	1,189,807	1,031,122	237,094	184,272	158,685	17.25	15.49	15.39
青 森	189,387	174,348	149,938	133,314	15,039	24,410	16,624	8.63	16.28	12.47
宮 城	669,338	598,645	540,093	493,993	70,693	58,552	46,100	11.81	10.84	9.33
秋 田	9,025	9,813	9,994	9,884	-788	-181	110	-8.03	-1.81	1.11
山 形	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
福 島	149,637	149,276	145,845	137,053	361	3,431	8,792	0.24	2.35	6.42
茨 城	519,294	471,279	433,279	402,664	48,015	38,000	30,615	10.19	8.77	7.60
栃 木	484,886	453,677	443,079	428,052	31,209	10,598	15,027	6.88	2.39	3.51
群 馬	852,903	801,306	798,302	775,398	51,597	3,004	22,904	6.44	0.38	2.95
埼 玉	2,223,714	1,655,407	1,466,387	1,351,233	568,307	189,020	115,154	34.33	12.89	8.52
千 葉	1,257,177	862,596	720,941	636,639	394,581	141,655	84,302	45.74	19.65	13.24
東 京	10,729,760	9,545,890	7,898,463	6,139,354	1,183,870	1,647,427	1,759,109	12.40	20.86	28.65
神 奈 川	4,103,427	3,159,396	2,640,786	2,215,167	944,031	518,610	425,619	29.88	19.64	19.21
新 潟	491,408	454,125	422,941	398,095	37,283	31,184	24,846	8.21	7.37	6.24
富 山	426,182	408,094	389,265	369,935	18,088	18,829	19,330	4.43	4.84	5.23
石 川	55,652	50,728	48,573	46,863	4,924	2,155	1,710	9.71	4.44	3.65
福 井	179,242	166,020	154,018	144,791	13,222	12,002	9,227	7.96	7.79	6.37
山 梨	183,641	171,936	166,156	151,300	11,705	5,780	14,856	6.81	3.48	9.82
長 岐	322,780	302,254	291,738	283,439	20,526	10,516	8,299	6.79	3.60	2.93
岐 阜	728,036	643,319	576,891	531,525	84,717	66,428	45,366	13.17	11.51	8.54
静 岡	1,664,748	1,507,892	1,380,966	1,241,191	156,856	126,926	139,775	10.40	9.19	11.26
愛 知	4,270,659	3,682,076	3,234,725	2,853,149	588,583	447,351	381,576	15.99	13.83	13.37
三 重	484,098	443,681	415,437	387,023	40,417	28,244	28,414	9.11	6.80	7.34
滋 賀	279,044	264,375	258,517	255,305	14,669	5,858	3,212	5.55	2.27	1.26
京 都	1,314,840	1,198,568	1,130,738	1,041,230	116,272	67,830	89,498	9.70	6.00	8.60
大 阪	6,528,321	5,386,454	4,503,803	3,742,930	1,141,867	882,651	760,873	21.20	19.60	20.33
兵 庫	3,112,382	2,665,391	2,323,740	1,996,694	446,991	341,651	327,046	16.77	14.70	16.38
奈 良	243,650	219,644	216,288	215,026	24,006	3,356	1,262	10.93	1.55	0.59
和 歌 山	447,660	405,103	386,219	360,657	42,557	18,884	25,562	10.51	4.89	7.09
鳥 取	132,330	127,522	125,833	115,924	4,808	1,689	9,909	3.77	1.34	8.55
島 根	5,043	5,396	5,746	5,973	-353	-350	-227	-6.54	-6.09	-3.80
岡 山	603,786	550,350	518,341	475,838	53,436	32,009	42,503	9.71	6.18	8.93
広 島	1,190,960	1,048,768	957,818	865,539	142,192	90,950	92,279	13.56	9.50	10.66
山 口	456,946	468,765	448,083	405,825	-11,819	20,682	42,258	-2.52	4.62	10.41
徳 島	267,300	255,868	244,576	227,189	11,432	11,292	17,387	4.47	4.62	7.65
香 川	435,533	428,240	423,910	405,937	7,293	4,330	17,973	1.70	1.02	4.43
愛 媛	562,384	529,716	501,352	465,058	32,668	28,364	36,294	6.17	5.66	7.80
高 知	222,498	201,242	185,678	167,696	21,256	15,564	17,982	10.56	8.38	10.72
福 佐	2,968,560	2,936,982	2,741,478	2,421,027	31,578	195,504	320,451	1.08	7.13	13.24
長 門	168,286	170,340	170,016	162,835	-2,054	324	7,181	-1.21	0.19	4.41
熊 野	709,527	709,031	663,872	579,629	496	45,159	84,243	0.07	6.80	14.53
本 分	482,730	454,515	432,449	390,736	28,215	22,066	41,713	6.21	5.10	10.68
大 分	194,930	189,742	192,308	180,674	5,188	-2,566	11,634	2.73	-1.33	6.44
宮 崎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鹿 児 島	328,448	296,003	274,340	229,462	32,445	21,663	44,878	10.96	7.90	19.56

付表 3 1965年に人口集中地区を含む市区町村の人口

都道府県	人 口				増 加 数			増 加 率		
	1965	1960	1955	1950	1960~65	1955~60	1950~55	1960 ~65	1955 ~60	1950 ~55
総 数	65,488,366	58,726,711	53,320,756	47,566,101	6,761,655	5,405,955	5,754,655	11.51	10.14	12.10
北 海 道	2,100,807	1,846,523	1,625,976	1,426,549	254,284	220,547	199,427	13.77	13.56	13.98
青 森	669,967	642,396	595,834	535,564	27,571	46,562	60,270	4.29	7.81	11.25
岩 手	266,549	244,607	228,600	209,450	21,942	16,007	19,150	8.97	7.00	9.14
宮 城	957,431	896,427	845,498	788,995	61,004	50,929	56,503	6.81	6.02	7.16
秋 田	310,609	302,245	289,755	269,811	8,364	12,490	19,944	2.77	4.31	7.39
山 形	468,412	467,079	465,992	462,847	1,333	1,087	3,145	0.29	0.23	0.68
福 島	968,950	955,438	944,090	905,287	13,512	11,348	38,803	1.41	1.20	4.29
茨 木	912,568	856,192	818,420	781,242	56,376	37,772	37,178	6.58	4.62	4.76
栃 木	761,695	722,901	716,578	703,782	38,794	6,323	12,796	5.37	0.88	1.82
群 馬	1,041,767	988,254	992,353	971,189	53,513	-4,099	21,164	5.41	-0.41	2.18
埼 玉	2,360,460	1,830,024	1,646,609	1,529,302	530,436	183,415	117,307	28.99	11.14	7.67
千 葉	1,965,555	1,540,927	1,399,887	1,314,822	424,628	141,040	85,065	27.56	10.08	6.47
東 京	10,706,166	9,543,438	7,898,624	6,139,623	1,162,728	1,644,814	1,759,001	12.18	20.82	28.65
神 奈 川	4,213,028	3,257,438	2,737,085	2,307,818	955,590	520,353	429,267	29.34	19.01	18.60
新 潟	1,326,959	1,286,958	1,262,847	1,229,333	40,001	24,111	33,514	3.11	1.91	2.73
富 山	585,611	574,720	560,242	543,013	10,891	14,478	17,229	1.90	2.58	3.17
石 川	509,759	487,388	474,010	460,115	22,371	13,378	13,895	4.59	2.82	3.02
福 井	314,079	300,205	287,202	279,822	13,874	13,003	7,380	4.62	4.53	2.64
山 梨	261,001	248,753	242,382	224,731	12,248	6,371	17,651	4.92	2.63	7.85
長 岐	862,791	836,933	830,543	828,005	25,858	6,390	2,538	3.09	0.77	0.31
岐 阜	855,201	766,195	699,375	644,667	89,006	66,820	54,708	11.62	9.55	8.49
静 岡	2,175,525	1,998,772	1,862,067	1,706,999	176,753	136,705	155,068	8.84	7.34	9.08
愛 三	4,144,406	3,603,220	3,176,396	2,800,727	541,186	426,824	375,669	15.02	13.44	13.41
三 重	875,548	826,294	801,763	768,904	49,254	24,531	32,859	5.96	3.06	4.27
滋 賀	371,478	352,546	346,907	342,608	18,932	5,639	4,299	5.37	1.63	1.25
京 大	1,598,038	1,475,905	1,400,155	1,295,895	122,133	75,750	104,260	8.28	5.41	8.05
阪 神	6,526,610	5,395,844	4,514,146	3,755,499	1,130,766	881,698	758,647	20.96	19.53	20.20
兵 庫	3,455,767	3,010,838	2,681,903	2,353,024	444,929	328,935	328,879	14.78	12.26	13.98
奈 良	544,088	488,287	482,961	472,203	55,801	5,326	10,758	11.43	1.10	2.28
和 歌 山	612,834	567,363	547,730	517,192	45,471	19,633	30,538	8.01	3.58	5.90
鳥 取	291,304	286,436	285,806	267,732	4,868	630	18,074	1.70	0.22	6.75
島 根	273,537	273,832	274,217	262,373	-295	-385	11,844	-0.11	-0.14	4.51
山 口	914,306	867,768	839,089	795,025	46,538	28,679	44,064	5.36	3.42	5.54
広 島	1,497,534	1,337,122	1,242,949	1,145,130	160,412	94,173	97,819	12.00	7.58	8.54
山 口	1,079,421	1,078,385	1,044,452	974,247	1,036	33,933	70,205	0.10	3.25	7.21
徳 島	304,647	295,613	289,466	274,041	9,034	6,147	15,425	3.06	2.12	5.63
香 愛	519,418	513,864	513,710	499,418	5,554	154	14,292	1.08	0.03	2.86
高 知	787,372	767,125	751,976	717,743	20,247	15,149	34,233	2.64	2.01	4.77
高 知	259,126	238,086	224,555	206,746	21,040	13,531	17,809	8.84	6.03	8.61
福 岡	3,118,966	3,089,749	2,895,977	2,562,248	29,217	193,772	333,729	0.95	6.69	13.02
佐 賀	439,840	466,784	472,122	451,196	-26,944	-5,338	20,926	-5.77	-1.13	4.64
長 崎	866,367	864,841	823,756	730,444	1,526	41,085	93,312	0.18	4.99	12.77
本 分	811,398	799,975	783,354	726,538	11,423	16,621	56,816	1.43	2.12	7.82
崎 本	525,268	505,319	502,830	473,099	19,949	2,489	29,731	3.95	0.49	6.28
大 宮	458,768	439,807	423,888	386,780	18,961	15,919	37,108	4.31	3.76	9.59
宮 崎	617,435	587,895	576,679	524,323	29,540	11,216	52,356	5.02	1.94	9.99

付表 4 1960~65年間に人口増加がプラスの市区町村の人口

都道府県	人 口				増 加 数			増 加 率		
	1965	1960	1955	1950	1960~65	1955~60	1950~55	1960 ~65	1955 ~60	1950 ~55
総 数	57,445,823	49,162,483	43,663,881	38,660,536	8,283,340	5,498,602	5,003,345	16.85	12.59	12.94
北 海 道	1,779,374	1,495,194	1,280,266	1,093,785	284,180	214,928	186,481	19.01	16.79	17.05
青 岩 森	571,509	541,978	500,802	452,323	29,531	41,176	48,479	5.45	8.22	10.72
宮 城	266,549	244,607	228,600	209,459	21,942	16,007	19,141	8.97	7.00	9.14
秋 田	872,340	796,721	736,735	681,813	75,619	59,986	54,922	9.49	8.14	8.06
山 形	236,895	223,866	209,493	191,838	13,029	14,373	17,655	5.82	6.86	9.20
福 島	206,597	201,352	196,604	193,346	5,245	4,748	3,258	2.60	2.42	1.69
茨 木	603,169	574,815	557,089	526,368	28,354	17,726	30,721	4.93	3.18	5.84
茨 木	898,761	826,624	789,245	750,919	72,137	37,379	38,326	8.73	4.74	5.10
群 馬	774,125	711,996	705,126	691,464	62,129	6,870	13,662	8.73	0.97	1.98
埼 玉	983,685	928,201	927,873	909,711	55,484	328	18,162	5.98	0.04	2.00
千 葉	2,593,231	1,995,888	1,805,202	1,682,332	597,343	190,686	122,870	29.93	10.56	7.30
東 京	1,688,280	1,235,767	1,077,335	986,406	452,513	158,432	90,929	36.62	14.71	9.22
神 奈 川	8,792,485	7,456,965	5,949,144	4,548,479	1,335,520	1,507,821	1,400,665	17.91	25.35	30.79
新 富 山	4,377,020	3,388,455	2,861,422	2,428,335	988,565	527,033	433,087	29.17	18.42	17.83
石 川	1,040,655	989,035	953,798	913,135	51,620	35,237	40,663	5.22	3.69	4.45
福 井	417,811	397,757	376,769	358,025	20,054	20,988	18,744	5.04	5.57	5.24
山 梨	536,376	506,918	490,604	474,369	29,458	16,314	16,235	5.81	3.33	3.42
長 岐	254,001	239,644	225,904	217,448	14,357	13,740	8,456	5.99	6.08	3.89
山 梨	242,587	227,796	221,935	204,351	14,791	5,861	17,584	6.49	2.64	8.60
岐 阜	683,201	644,596	628,168	616,923	38,605	16,428	11,245	5.99	2.62	1.82
静 岡	1,046,591	946,078	872,974	823,933	100,513	73,104	49,041	10.62	8.37	5.95
愛 知	2,190,203	2,028,666	1,859,136	1,701,245	161,537	169,530	157,891	7.96	9.12	9.28
三 重	4,556,449	3,650,972	3,212,773	2,859,091	905,477	438,199	353,682	24.80	13.64	12.37
滋 賀	837,444	779,046	749,215	713,541	58,398	29,831	35,674	7.50	3.98	5.00
大 阪	402,211	376,185	368,906	364,005	26,026	7,279	4,901	6.92	1.97	1.35
兵 庫	1,178,960	1,012,441	928,354	858,050	166,519	84,087	70,304	16.45	9.06	8.19
和 歌 山	5,249,297	3,970,378	3,172,465	2,717,900	1,278,919	797,913	454,565	32.21	25.15	16.72
鳥 取	3,357,771	2,842,455	2,571,977	2,244,960	515,316	270,478	327,017	18.13	10.52	14.57
島 根	661,974	595,392	589,237	576,574	66,582	6,155	12,663	11.18	1.04	2.20
岡 山	539,951	487,075	464,225	436,842	52,876	22,850	27,383	10.86	4.92	6.27
鳥 取	241,190	234,908	233,353	216,180	6,282	1,555	17,173	2.67	0.67	7.94
島 根	120,107	116,021	112,912	106,247	4,086	3,109	6,665	3.52	2.75	6.27
岡 山	752,403	707,017	658,848	614,031	45,386	48,169	44,817	6.42	7.31	7.30
山 口	1,347,184	1,170,595	1,071,775	969,571	176,589	98,820	102,204	15.09	9.22	10.54
徳 島	594,192	562,980	529,536	480,200	31,212	33,444	49,336	5.54	6.32	10.27
香 川	252,799	240,675	227,358	209,860	12,124	13,317	17,498	5.04	5.86	8.34
愛 媛	290,304	274,154	260,280	243,144	16,150	13,874	17,136	5.89	5.33	7.05
高 知	419,877	385,673	361,043	330,841	34,204	24,630	30,202	8.87	6.82	9.13
福 岡	220,657	198,656	182,403	164,114	22,001	16,253	18,289	11.07	8.91	11.14
佐 賀	3,204,815	2,948,921	2,628,361	2,214,413	255,894	320,560	413,948	8.68	12.20	18.69
長 崎	183,937	176,666	173,148	163,466	7,271	3,518	9,682	4.12	2.03	5.92
熊 本	450,721	423,902	382,927	334,020	26,819	40,975	48,907	6.33	10.70	14.64
大 分	416,990	383,812	357,850	316,351	33,178	25,962	41,499	8.64	7.25	13.12
宮 崎	345,355	314,885	304,340	279,732	30,470	10,545	24,608	9.68	3.46	8.80
鹿 児 島	350,548	329,573	312,874	282,101	20,975	16,699	30,773	6.36	5.34	10.91
鹿 児 島	415,242	377,182	355,497	309,295	38,060	21,685	46,202	10.09	6.10	14.94

A Study of Recent Demographic Changes toward the Formation of Megalopolis

Masao UEDA

Similarly with the previous analysis made on the basis of the results of 1960 Census, the possibility of the megalopolis formation in the region of three large metropolises of Tokyo-Yokohama, Nagoya and Kyoto-Osaka-Kobe and the areas connecting them is examined by applying three indices of the degree of population concentration, namely (a) population density, (b) areas which have "Densely Inhabited District", and (c) population increase rate.

Observing the country by cities, city-wards, towns and villages, areas whose population density is above the national average (266 persons per 1 km²) are most frequently distributed in the upper-mentioned region of three large metropolises and areas connecting them along the Pacific and Inland Sea coastal line. Making this as Standard I (over 253 persons per 1 km² in previous study), among the cities, city-wards, towns and villages which satisfy the Standard, those which face the coastal line and those which are adjacent to them are assumed temporarily as the megalopolis, and its 1965 total population amount to 47 million or 48 percent of the country's population. Among them, as Standard II, cities, city-wards, towns and villages which have higher population density than the average urban population density (760 persons per 1 km²) are distributed only in three large metropolises and their surroundings. This delimitation gives the total population of 39.7 million or 40 percent of the national population. As Standard III, cities, city-wards, towns and villages which have "Densely Inhabited District" are fairly broadly distributed including 43 million of population which occupies 44 percent of the national total. Further as Standard IV, cities, city-wards, towns and villages with positive 1960-65 population increase rate are not located in the centers of the three large metropolises, but are most concentrated in their peripheries, the population there being 40.2 million or 41 percent of the national total.

Against the population which belongs to such cities, city-wards, towns and villages which satisfy each of the above Standards in total Japan, the ratio of the population belonging to the afore-mentioned megalopolis is the highest in the application of Standard II at 76%, followed by 70% in Standard IV, 65% in Standard III, and 63% in Standard I. Similarly as regards the degree of concentration to the megalopolis of the population increase, even the lowest ratio, which is in Standard IV, is as high as 83%, the highest being 92% in Standard I. Population increase in the areas satisfying each of the said Standards within the megalopolis was 60-70% of the total population increase of the country during the period of 1950-1955, but the same became higher than the national total population increase in 1955-1965, thus reflecting the intensified depopulation in the areas outside of the megalopolis.

In summary, the population concentration which has already been quite marked in three metropolises and areas along Pacific and Inland Sea coast connecting them, is on increased intensification of recent, and the increased possibility of the megalopolis formation can be noticed. Demographic and or socio-economic implications of such trend require further studies.